



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス 上場取引所 東
 コード番号 6871 URL <https://www.mjc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 片山 ゆき TEL 0422-21-2665
 管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	16,985	△13.2	1,750	△57.3	1,569	△64.7	1,143	△60.2
2022年12月期第2四半期	19,570	11.5	4,101	6.8	4,445	9.9	2,873	2.9

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,852百万円 (△49.1%) 2022年12月期第2四半期 3,638百万円 (△1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	29.64	29.64
2022年12月期第2四半期	74.69	74.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	50,922	38,202	75.0
2022年12月期	54,385	38,631	70.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 38,202百万円 2022年12月期 38,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	59.00	59.00
2023年12月期	0.00	0.00			
2023年12月期（予想）			0.00	18.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2023年8月10日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期（累計）	26,600	△11.7	2,400	△61.9	2,100	△70.5	1,400	△68.5	36.30
通期	36,400	△17.9	3,400	△63.1	3,200	△69.3	2,300	△69.5	59.63

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2023年8月10日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	40,025,316株	2022年12月期	40,025,316株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	1,441,274株	2022年12月期	1,481,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	38,570,398株	2022年12月期 2 Q	38,475,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2023年8月10日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による移動制限がほぼ解除されたこと等により、経済活動の再開に向け大きく進展しました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の緊迫継続など、地政学リスクは続いています。また、欧米諸国を中心にインフレを抑え込むための政策金利引き上げが続いたことで、米国発の金融不安が台頭するなど、資本市場の不確実性が高まりました。

半導体市場においては、スマートフォンやパソコンなど主要な民生機器の需要回復が遅れており、またデータセンター投資も減速したことから、これらに関連した半導体需要が不振となりました。

このような状況において、特にメモリ半導体メーカー各社の在庫が積みあがり、生産調整、設備投資の見直しなどに繋がりました。また、メモリ半導体における平均販売価格の下落も相まって、メモリ半導体市況は厳しい状況となりました。一方、車載用のアナログ半導体やマイコン、センサーなどの製品群は堅調な市況が継続しているものの、半導体市場全体では減速となりました。

F P D市場においては、テレビ・パソコンともに需要の減速が続いており、液晶パネル需要回復には時間がかかるとの見方に変わりありません。

当社グループの当第2四半期連結累計期間は、半導体市況の減速を受けた当社顧客の減産の影響を受け、特にメモリプローブカードの需要が前年同期比で落ち込みました。他方、将来を見据えた積極的な開発を推進したことで、研究開発費を中心に販管費が前年同期比で増加しました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高16,985百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益1,750百万円（前年同期比57.3%減）、経常利益1,569百万円（前年同期比64.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,143百万円（前年同期比60.2%減）となりました。

<セグメントの状況>

(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① プローブカード事業

半導体市況の悪化を受け、メモリ向けプローブカードの需要が減速しました。またノンメモリ向けにおいても、一部堅調な製品はあったものの、全体としては市況の影響を受けました。

これらの結果、プローブカード事業全体では前年同期比で減収減益となり、売上高は16,193百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は3,317百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

② T E事業

半導体及びF P D市場の需要減速を受け、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、売上高は791百万円（前年同期比59.1%減）、セグメント損失は452百万円（前年同期は119百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,462百万円減少し、50,922百万円となりました。有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が1,646百万円増加しましたが、現金及び預金が3,307百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,858百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,033百万円減少し、12,720百万円となりました。支払手形及び買掛金が1,308百万円、未払法人税等が796百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ428百万円減少し、38,202百万円となりました。主に利益剰余金が1,130百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ3,553百万円減少し、17,450百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,169百万円(前年同期比67.3%減)となりました。仕入債務の減少額1,484百万円、法人税等の支払額1,183百万円等により減少しましたが、売上債権及び契約資産の減少額2,001百万円、税金等調整前四半期純利益1,624百万円、減価償却費1,014百万円等により増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用された資金は2,453百万円(前年同期は583百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,188百万円、定期預金の純預入額194百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用された資金は2,524百万円(前年同期は2,163百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額2,274百万円、短期借入金と長期借入金の純返済額284百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表した2023年12月期第3四半期累計連結業績予想を見直すとともに、2023年12月期通期連結業績予想を開示いたしました。詳細につきましては、本日(2023年8月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,552	18,245
受取手形、売掛金及び契約資産	8,291	6,432
製品	889	889
仕掛品	3,841	3,399
原材料及び貯蔵品	2,922	3,020
その他	889	1,019
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	38,347	32,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,844	3,912
機械装置及び運搬具(純額)	3,778	3,730
その他(純額)	5,557	7,372
有形固定資産合計	13,179	15,015
無形固定資産	990	967
投資その他の資産		
投資有価証券	721	902
退職給付に係る資産	110	99
その他	1,238	1,190
貸倒引当金	△202	△218
投資その他の資産合計	1,867	1,973
固定資産合計	16,038	17,956
資産合計	54,385	50,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,352	4,043
短期借入金	834	761
未払法人税等	1,321	524
賞与引当金	1,222	850
役員賞与引当金	398	38
製品保証引当金	270	290
その他	3,740	3,766
流動負債合計	13,139	10,275
固定負債		
長期借入金	439	228
退職給付に係る負債	2,104	2,150
その他	70	66
固定負債合計	2,614	2,444
負債合計	15,754	12,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	6,005	6,029
利益剰余金	27,194	26,063
自己株式	△1,312	△1,275
株主資本合計	36,905	35,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322	454
為替換算調整勘定	1,258	1,857
退職給付に係る調整累計額	76	54
その他の包括利益累計額合計	1,657	2,366
新株予約権	68	—
純資産合計	38,631	38,202
負債純資産合計	54,385	50,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	19,570	16,985
売上原価	10,771	9,832
売上総利益	8,799	7,153
販売費及び一般管理費	4,697	5,402
営業利益	4,101	1,750
営業外収益		
受取利息	20	32
受取配当金	4	7
受取賃貸料	26	30
受取報奨金	29	52
還付金収入	15	—
為替差益	229	—
その他	27	26
営業外収益合計	353	148
営業外費用		
支払利息	3	3
支払手数料	5	202
為替差損	—	121
その他	1	2
営業外費用合計	10	329
経常利益	4,445	1,569
特別利益		
固定資産売却益	2	2
新株予約権戻入益	0	56
特別利益合計	2	59
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	4,446	1,624
法人税、住民税及び事業税	1,544	421
法人税等調整額	28	59
法人税等合計	1,572	481
四半期純利益	2,873	1,143
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,873	1,143

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,873	1,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	131
為替換算調整勘定	964	599
退職給付に係る調整額	△25	△21
その他の包括利益合計	764	709
四半期包括利益	3,638	1,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,638	1,852

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,446	1,624
減価償却費	1,002	1,014
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	33
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△8	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51	△375
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	42	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	29	17
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△148	△360
受取利息及び受取配当金	△24	△39
支払利息	3	3
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	3,157	2,001
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,807	448
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,216	△1,484
その他	332	△584
小計	5,754	2,316
利息及び配当金の受取額	24	39
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△2,205	△1,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,571	1,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△317	△610
定期預金の払戻による収入	2,158	415
有形固定資産の取得による支出	△1,126	△2,188
有形固定資産の売却による収入	5	2
その他の支出	△217	△80
その他の収入	82	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	583	△2,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	300
短期借入金の返済による支出	△400	△300
長期借入れによる収入	750	750
長期借入金の返済による支出	△316	△1,034
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△2,500	△2,274
ストックオプションの行使による収入	3	34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,163	△2,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	531	254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,523	△3,553
現金及び現金同等物の期首残高	16,914	21,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,438	17,450

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月27日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役、社外取締役及び非居住者である取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式12,154株を処分いたしました。さらに、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、当第2四半期連結累計期間において自己株式29,700株を処分いたしました。

以上を主な要因として、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が24百万円増加し、自己株式が36百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が6,029百万円、自己株式が1,275百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	T E 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,634	1,935	19,570	—	19,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,634	1,935	19,570	—	19,570
セグメント利益	5,161	119	5,280	△1,179	4,101

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,179百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	T E 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,193	791	16,985	—	16,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,193	791	16,985	—	16,985
セグメント利益又は損失 (△)	3,317	△452	2,865	△1,114	1,750

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,114百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。